

当社の「欠陥チェック」が金スマで放映されました

「自分で出来る我が家の欠陥チェック」を紹介します

基礎に縦の亀裂がある。

床下換気口付近にある亀裂は、構造上生じやすいものなので、大きな亀裂でない限り問題ありません。要注意は、基礎に縦の亀裂がある場合です。地盤沈下、不同沈下の可能性があります。

外壁に目立つ亀裂がある。

外壁に亀裂が入る原因は、まず耐震性能の不足が上げられます。耐力壁（筋かい）が基準通りにあれば大きな亀裂は生じません。地盤沈下や不同沈下による建物の動きによる場合もあります。

柱と壁の間にすき間がある。

和室の場合で、柱と壁の接点にすき間が生じている場合です。建物の動きによって生じていることが考えられます。動きの原因は、耐震性能の不足や地盤沈下の可能性が考えられます。

壁の内装に亀裂がある。

洋間の場合です。クロスが破れたり、下地のボードが割れたりする場合があります。原因は、と同じです。

歩くとギシギシと床鳴りがする。

部材寸法の不足やずさんな施工が考えられます。漏水や結露などによって木部の含水率が上がり、木部が膨張した場合も考えられます。耐震性能の不足や地盤沈下の可能性もあります。

ドアやサッシの開閉が悪くなった。

室内の湿度によって、木は乾燥収縮を繰り返し、開閉が悪くなる場合は調整によって直ります。しかし、建物の動きによる場合は、耐震性能の不足や地盤沈下の可能性が考えられます。

結露がひどい。

結露は、暖房機・ガラス・換気・断熱材などの要因があげられます。一番こわいのが壁内結露です。壁の中に生じた結露が蒸発するような仕組みがないと、壁の中の木が腐ってしまいます。

床下がいつも湿っている。

排水管の漏水のほか、床下換気が適切に行われていない場合に起こります。床下が常時湿っていると、土台など、木は簡単に腐ります。また、湿気による木の膨張によって建物が動きます。

床に置いたビー玉が勢いよく転がる。

床の傾きが7/1000の場合、ビー玉が勢いよく転がり、単なる施工のずさんさでは済まされない、重大な欠陥が隠れている可能性があります。耐震性能の不足や地盤沈下の可能性が考えられます。

天井や壁にシミの跡がある。

シミの多くは、雨漏り、結露によるものです。表面に表れるには、相当の水量が必要です。ホンの少しのシミでも、重大な場合が考えられます。木の天敵は水分と湿気です。

「はい」の数によって診断します。

- 「はい」が3個未満 問題ありません。
- 「はい」が3～6個未満 できれば、第三者の専門家に見てもらった方がいいと思います。
- 「はい」が7個以上 第三者の専門家精密調査が必要です。